

2021年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330422094	図画工作教育法 Drawing and Handycrafts Department of Education Act	礒部洋司		専門	2	選択	2後期

科目の概要

美術教育の内容領域や歴史、関連法令、学習指導要領・指導要録及び、指導に必要な発達段階に関する知識等、図画工作科教育に必須な諸相を取り上げ講義するとともに、小学校低学年に必須なクレヨン・パスを用いた実技的演習を行う。これらによって、図画工作科の指導者として必要な美術教育に関する知識と技能を習得し、教材研究に係わる能力及び意欲を培い、教科指導のための基礎的能力を養うことを目的とする。

学修内容	到達目標
① 美術教育の内容領域と歴史 ② 教育関係法規 ③ 学習指導要領と指導要録 ④ クレヨン・パスによる絵画制作 ⑤ 描画の発達段階 ⑥ 模擬授業	① 美術に係る教科・科目の構成と内容領域及び、その歴史を理解することができる。 ② 関係法規の内容を知り、学校教育の諸相と法的根拠を把握できる。 ③ 学習指導要領と指導要録の記述内容を知り、適切な教科指導を考えることができる。 ④ クレヨン・パスの画材としての特質や技法を知り、絵画指導について見通しを持つことができる。 ⑤ 描画の発達段階を理解し、子どもたちの指導に役立てることができる。 ⑥ 模擬授業を通して、授業改善の視点を身に着けることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	教科書や文献資料を使い学修し、内容や構成を考え、レポート等を作成することができる。
	働きかけ力	
	実行力	指定された内容や様式に従いながら、的確に行動に移し、積極的に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	主観にとらわれず事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	既存の様式や形態等に捉われず、自分なりの価値観を持ち教材等を作成することができる。
チームで働く力	発信力	得た知見を的確な文章で表現し、また、傾聴者を考えて解りやすい発表をすることができる。
	傾聴力	教員の講義や他者の発表を正確に聞き取り、質問等を交えながら整理することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	場の雰囲気等をくみ取り、適切な発言や行動をし、また目標に向かって協力できる。
	規律性	無断欠席、遅刻、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

教科書：藤江充・岩崎由紀夫・水島尚喜編著、『平成20年告示新学習指導要領による「図画工作科」指導法』、日本文教出版、2009
 文部科学省、『小学校学習指導要領 平成20年度告示』、東京書籍、2008
 参考書：授業内で適宜紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他教科との関連：図画工作科研究
 資格との関連：小学校教諭第1種普通免許状

学修上の助言

受講生とのルール

取り扱う内容が多いので、毎回の学修内容を自分なりに整理し、要点を記憶するようにすること。

欠席はなるべく避けていただきたい。
 教科書はかならず用意していただきたい。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	20	①	✓	⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習した内容の理解度を確認する。 ・100点満点換算で100～90がK、89～80はA、79～70=B、69～60=C、59点以下を不合格とする 		
				②	✓				
				③	✓				
				④	✓				
				⑤	✓				
	平常評価	小テスト		0	①		⑥		
					②				
					③				
					④				
					⑤				
		レポート		40	①		⑥		<ul style="list-style-type: none"> ・課題①「教育関係法規読み取り」 ・課題②「学習指導要領の変化の読み取り」 ・課題③「クレヨン・パス作品について」 ・課題④「学習指導案」 ・独自の考えに基づいているか、構成は練られているか、適切な用語が使用されているかどうか等の観点で、それぞれのレポートを10段階評価する。
					②	✓			
					③	✓			
					④				
					⑤	✓			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		30	①		⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・作成したレポートや作品（全部ではないが）について、個々に発表していただく。発表内容や用語の適切さ、明瞭さなどの観点で評価する。 ・幼児や小学校低学年の主要画材であるクレヨン・パスによる絵画作品制作を適時行う。 ・作品としての完成度のほか、時間をかけてじっくり取り組めたかななどの観点で評価する。 			
			②						
			③						
			④						
			⑤	✓					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻、欠席、学習意欲欠如、課題の不提出などが顕著であれば減点する。 			
			②	✓					
			③	✓					
			④	✓					
			⑤	✓					
総合評価割合			100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>レポート、作品をすべて提出し、これらの完成度が高く、また発表内容が秀逸であり、かつ筆記試験で80点を超えることに加え、出席状況がよいことがA（優）評価の条件となる</p>	<p>左に準じるレベルがB（良）評価となる。すなわち提出物や発表内容が水準を超え、筆記試験が70～79点であり、かつ出席状況も良好なものがこの評価の対象である。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	授業の目的や授業内容、試験やレポート、評価等について知り、学習の見通しを持つ。	講義	この科目の目的、内容や評価等について理解することができ、今後の学習への意欲を持つことができる。	次回講義の教科書の関係分を読んでおくこと。		傾聴力
2	美術に係わる教科の構成と内容領域を把握し、教科名の変遷と美術教育の歴史について理解する。	講義	美術教育関係教科・科目の構成と内容領域、教科名の変遷、歴史について理解することができる。	教科書の関係分を読んでおくこと。		傾聴力
3	教育関係法規を概観し、重要な事項を理解するとともに、学校教育法と学校教育法施行規則に関してレポートを作成する。	講義 レポート作成	教育関係法規の必要部分の概略を理解し記憶することができ、適切なレポートを作成することができる。	レポートを完成しておくこと。		課題発見力
4	学校教育法と学校教育法施行規則についてレポートをもとに発表し、また、重要事項について理解・記憶する。児童指導要録の内容と評価の観点等を知り、図画工作科の学習指導の評価を理解することができる。	発表 講義	適切な発表ができる。学校教育法と学校教育法施行規則について理解・記憶できる。 小学校児童指導要録の構造と観点別評価の観点を理解・記憶し、併せて当該教科の学習評価の考え方を理解することができる。			発信力
5	現行学習指導要領の目標や内容構造について理解し、歴代指導要領の変化について考え、レポートを作成する。	講義 レポート作成	学習指導要領の構成と内容を理解し記憶することができる。 レポート作成に意欲的に取り組むことができる。	レポートを完成しておくこと。		主体性
6	歴代学習指導要領の変化について自己の考えを発表し、現行学習指導要領の記載事項について理解する。	発表 講義	適切な発表ができる。学習指導要領の記載事項を理解することができる。	教科書の関係分を読んでおく。		発信力
7	学習指導要領の記載事項であり、図画工作科の専門知識としての「造形要素」、「色彩」などに関する知識を得る。	講義	造形要素や色彩」などに関する知識をについて理解することができる。	教科書の関係分を読んでおく。		傾聴力
8	版画、焼き物、クレヨン・パスなど画材に関する専門的知識を理解する。学習指導案の構造・様式などを理解する。	講義	版画などに関する専門的知識を理解して、記憶することができる。学習指導案の構造・様式などを理解し、作成することができる。	教科書の関係分を読んでおく。 教科書の関係分を読んでおく。		傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	クレヨン・パスの使いこなしの1として、ステンシルの技法を用いて作品を制作する。	絵画作品制作	意欲的にステンシル作品制作に取り組むことができる。	作品を完成させておく		主体性
10	ステンシル作品を鑑賞し、クレヨン・パスの使いこなしの2として、マスキングの技法を用いて作品を制作する。	鑑賞 絵画作品制作	他者の作品の良さを認め鑑賞することができる。 意欲的にマスキング作品制作に取り組むことができる。	作品を完成させておく		主体性
11	マスキング作品を鑑賞し、クレヨン・パスの使いこなしの3として、スクラッチの技法を用いて作品を制作する。	鑑賞 絵画作品制作	他者の作品の良さを認め鑑賞することができる。 意欲的にスクラッチ作品制作に取り組むことができる。	作品を完成させておく		主体性
12	スクラッチ作品を鑑賞し、クレヨン・パスの使いこなしの4として、ぼかし、点描、混色・重色などの技法を用いた抽象作品を制作する。	鑑賞 絵画作品制作	他者の作品の良さを認め鑑賞することができる。 意欲的に各種技法を用いた抽象作品の制作に取り組むことができる。	作品を完成させておく		創造力
13	各種技法を用いた作品を鑑賞し、クレヨン・パスの使いこなしの5として、左手(右手)を描く。	鑑賞 絵画作品制作	他者の作品の良さを認め鑑賞することができる。 意欲的に左手(右手)を描くことができる。	色の違った画用紙を用いて、左手(右手)をもう1枚描く。 制作作品に関するレポートを作成する。		主体性
14	幼児期から青年期に至る描画等表現の発達段階と指導に関する事項を理解する。 模擬授業のための学習指導案を作成する。	発表 鑑賞 講義	描画表現の発達を理解し、適切な絵画指導について考えることができる。 適切な学習指導案を作成することができる。	教科書の関係分を読んでおく。 学習指導案の様式等について復習しておく改めて確認しておく。		発信力
15	代表者による模擬授業を行い、終了後、授業内容や学習指導案について話し合う。	発表	適切な授業を実施することができる。 図画工作の授業や学習指導案について理解を深めることができる。	教科書の関係分を読んでおく。		傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力